

会 議 録

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

		所管課	企画政策課
会議名 (審議会等名)	第2回 嬉野市新庁舎建設検討委員会		
開催日時	令和4年11月25日(金) 9:30~11:40		
開催場所	嬉野市役所嬉野庁舎3階 3-1会議室		
会議の公開の可否	Ⓞ ・ 不可 ・ 一部不可	傍聴者数	1人
公開不可・一部不可 の場合はその理由			
出席者	委員	相浦委員、片淵委員、古賀委員、中原委員、早瀬委員、 三島委員、鷺崎委員	
	事務局	総合戦略推進部長(三根)、企画政策課長(松本)、 同副課長(笠原)、同企画政策G主任(池田)	
	その他	嬉野市庁舎建設基本計画策定業務委託事業者(4名): A 嬉野市庁舎整備事業発注者支援業務委託事業者(4名): B 嬉野市新庁舎オフィス環境整備支援業務委託事業者(4名): C	
会議の議題	嬉野市庁舎建設基本計画(案)について		
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 嬉野市庁舎建設基本計画(案) ・ 嬉野市新庁舎オフィス環境整備支援業務調査報告書 		
審議等の内容	別紙のとおり		

審 議 等 の 内 容

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

		所管課	企画政策課
議 題	嬉野市庁舎建設基本計画（案）について		
内 容	嬉野市庁舎建設基本計画の素案について、事務局より説明の後、各委員より意見・質疑を受けた。		
審議経過	事務局	ただ今から、第2回嬉野市新庁舎建設検討委員会を開催いたします。まず、次第2委員長あいさつです。三島委員長より一言ご挨拶をお願いいたします。	
	委員長	【委員長挨拶】	
	事務局	<p>ありがとうございました。</p> <p>本日の委員会は、委員7名にご出席いただいております。嬉野市新庁舎建設検討委員会設置条例第6条第2項により、本委員会が成立していることをご報告いたします。</p> <p>それでは、嬉野市新庁舎建設検討委員会設置条例第6条第1項により、委員長が委員会の議長を務めることとなっておりますので、三島委員長に、以後の議事進行をお願いいたします。</p>	
	委員長 (議長)	<p>それでは、これより私の方で議事進行してまいります。</p> <p>次第3嬉野市新庁舎建設基本計画（案）について、事務局より説明をお願いします。</p>	
	事務局	<p>説明に入る前に、本検討委員会において審議していただくことになっております嬉野市庁舎建設基本計画策定の委託事業者であります佐藤総合計画をご紹介します。</p> <p>嬉野市庁舎建設に当たり、嬉野市庁舎整備基本構想を踏まえ、将来の変化を見据えた、これからの時代に求められる機能などを備えた新庁舎の建設に向け、今後の設計の前提となる基本計画の策定業務を委託しております。</p> <p>(佐藤総合計画 一言挨拶)</p>	

それから、本日の委員会のスケジュールについてですが、このあと基本計画（案）を説明いたしますが、（案）の中に庁舎の配置案を示していますので、説明後、委員の皆さんには庁舎周辺を見ていただきたいと考えています。庁舎を見ていただいたあと、この場にまたお集まりいただき、基本計画（案）に関して、ご審議していただきたいと考えています。なお、本日の委員会の終了を11時30分とさせていただきますが、よろしいでしょうか。

（委員了承）

それでは、お手元に配布しております基本計画（案）について、時間の都合もございますので、ポイントのみを説明いたします。

1ページ目です。新庁舎の基本理念ですが、基本構想では「すべてのひとにやさしい 安全・安心なうれしの舎（や）」としていましたが、これからの庁舎に求められる根本の考えとして、「ひと」だけではなく、「自然環境」の視点は欠かせないということから、新庁舎の基本理念を「すべてのひと・自然にやさしい 安全・安心なうれし舎（や）」に変更しています。

3ページの建設候補地の概要です。基本構想では候補地Aの敷地を第1庁舎及び第2庁舎の現嬉野庁舎敷地6,800㎡と設定していましたが、現有施設と連動した活用が有効ではないかという判断のもと、嬉野市文化センターまでを含めた敷地9,739㎡と設定を変更いたしております。

そこで4ページの建設候補地の比較ですが、4案を提示しています。

候補地Aの北側に建設した場合、同じく候補地Aの南側に建設した場合が上段の二つです。

また、候補地Bである嬉野市公会堂等の跡地に建設した場合と候補地AとBの両方の敷地を建設した場合が下段の二つです。

市としては、4つの建設候補地を比較検討した結果、5ページに記していますように「候補地Aの北側に庁舎を配置する案」を新庁舎の位置としております。

理由としては「候補地Bを広場や職員用駐車場等に活用しつつ、機能を集約することで来訪者にもわかりやすく、まちの中心となる施設としても周辺の公共施設との連携性が高く、災害対応能力も高い」ということからです。

この庁舎の建設候補地に関しましては、このあと実際に現地を委員の皆さんに見てもらおうことにしています。

11ページをご覧ください。新庁舎の規模ですが、基本構想では想定延床面積を8,000㎡程度と算定していましたが、将来の人口減少やICT活用による業務の効率化での職員数の減少、効率的なレイアウトや周辺施設の活用により、新庁舎の延床面積を6,500㎡以下程度とすることを目標とします。

この新庁舎の規模検討にあたりましては、嬉野市新庁舎オフィス環境整備支援業務を委託していますコクヨマーケティングから、のちほど説明をいたします。

14ページから17ページにつきましては、基本構想における「庁舎として必要となる機能」を新庁舎の機能の考え方として、整理して、基本構想から必要となる部分について一部肉付けしています。

次に19ページ・20ページです。新庁舎における構造方式として、「耐震構造」「免震構造」「制震構造」について、比較検討をした結果、「耐震構造」を採用することにしました。現時点における新庁舎は4階建てを想定しており、建築費、工事工期などの面で耐震構造が最適であると判断をいたしました。

21ページには設備方針として、省エネと創エネにより新庁舎のエネルギー消費量を抑えるZEBの実現に向けて取り組むことを示しています。国においてもZEBへの取り組みを推進していますので、これから建設する嬉野市庁舎においても、ある程度の費用がかかってもZEBへの取り組みは必須であると捉えています。

次に22ページ・23ページの事業手法についてです。従来方式である「設計・施工分離方式」のほかに「DB方式」「ECI方式」を比較検討した結果、発注者の意向を反映させやすく、設計条件等の設定漏れリスクが低い点で優位性のある従来方式としての「設計・施工分離方式」を採用することにいたしました。

次に概算事業費ですが、25ページをご覧ください。資材高騰などにより建築費がかなりのペースで増大しています。できる限り新庁舎面積をコンパクト化して、工事費の削減を目指していきますが、物価変動分を加味して現時点での本体工事費を36億円と見込んでいます。

ただし、この事業費につきましては、あくまでも現時点における

	<p>算定でありますので、今後さらに増大する可能性が高くなっていくと思われることをくどいようですが、付け加えておきます。</p> <p>最後に財源計画については、将来の市の財政負担をできる限り小さくするために合併特例債を活用していくことにしていますが、合併特例債の活用可能額が約12億円となっていることから、残りの財源としては現在基金として毎年積立てている公共施設建設基金を充てることにしています。</p> <p>以上で基本計画（案）の説明を終わりますが、新庁舎の規模検討の説明の際に話していただきましたようにコクヨマーケティングからオフィス環境に関する説明をいたします。</p> <p>（コクヨマーケティングから嬉野市新庁舎オフィス環境整備調査報告書の説明）</p>
事務局	<p>基本計画の中で、庁舎の配置、庁舎の規模、事業費、事業手法について、委員の皆さんには特に審議していただきたいと思います。その中の一つである庁舎の配置に関して、実際に候補地である庁舎の周辺の状況を見てもらいたいのので、一旦これから外に出ます。</p>
(全員)	<p>（新庁舎の配置状況を確認するため庁舎周辺を見学）</p>
委員長 (議長)	<p>それでは、事務局から説明のあった、嬉野市庁舎整備基本計画(案)について、章ごとに委員の皆様からご意見・ご質問をお受けしたいと思います。</p> <p>まず、第1章 新庁舎建設の基本方針（1ページ～2ページ）について、ご意見・ご質問はありませんか。</p>
(委員)	<p>2ページの基本方針5に「塩田庁舎エリア一体を子育て・文教ゾーンと位置づけまちづくりを進めていきます」とあるが、子育てに関することは嬉野庁舎に入らず、塩田庁舎のほうに担当課も子育て支援センターも移動するということになるのか。</p>
事務局	<p>塩田庁舎の活用については、別に委員会を立ち上げて検討することになっている。新庁舎には子育て未来課も入り、子育て支援センターの配置に関しては新庁舎に入るのか、それとも近隣の施設の空きスペースに入るのか、最適な場所を担当課と詰めていきたい。</p>
(委員)	<p>せっかく今ここに子育て支援センターがあり、そこに新しいセン</p>

	<p>ターも移るとなれば子どもに関する課も併設され、活用できると思う。ここに新しいセンターができれば図書館の利用ともいろんな形でできていくと思う。</p>
事務局	<p>塩田に子育て支援センターが移るというよりも、塩田にも子育て支援センターがあるので、嬉野にも残しておくことになる。庁舎の中に残すのか、文化センターなのか、ベストな場所に残していく。子育て支援センターが本当に庁舎の中に子育てあったほうがいいのかを含めて検討していきたい。</p>
(委員)	<p>基本計画のまとめ方について、この計画は市長に報告となっているが、計画書案には「するものとする、検討する、やります」とかいろいろな書きぶりがある。最終的に市でつくられたものが市長に報告となるのか。市が案をつくり、それに対する意見を願うというスタンスになるのか。</p>
(委員長)	<p>２ページに「新庁舎の位置や機能について具体的に検討を進めていきます」となっているのが、これがこの基本計画のことを言っているのか、それとも素案をそのあとに進めていくのか、わかりにくいということだと思う。例えば「新庁舎の位置や機能について、本計画で具体的に定めます」と書いてあれば、ここで決まるということがわかると思う。</p>
(委員)	<p>最終的に事業費や事業手法を決めるので意見をという話しになると、どういうスタンスで意見を言えばいいのかを確認したい。</p>
事務局	<p>基本計画は市の方針を示している。これを委員会で諮り、承認をしていただけるのかを確認していきたい。市長への報告については基本計画案をパブリックコメントや市民説明会を実施して議会にかけていくことになるが、市の方針として具体的にこうしていくという表現で示していく。</p>
(委員)	<p>これまでの経緯、最終的な計画としてこれをつくっているという経緯があればわかりやすい。また、総合計画などの上位計画に基づいてこの基本計画をつくっているというフロー図があればわかりやすい。</p>
事務局	<p>これまでの経緯や上位計画との関連性については、基本構想に記載している。そのまま基本計画に載せるのではなく、少し整理して盛り込んでいくように事務局で検討したい。</p>

(委員)	<p>基本構想、基本計画、基本設計、実施設計という流れになっていくと思う。それに基づいて変わってもいいと思うが、上位計画に基づいてやってきたということであり、工事の前の最後の計画として基本計画がある。これまでのいきさつ、フロー図があってこの最後の計画になっているというのがわかりやすい気がする。</p>
(委員)	<p>2ページにある第2章建築計画に関する検討の欄にページ数が記されているが、ほかのページにも関わってもくるので、ページ数は要らないのではないか。</p>
事務局	<p>ページ数の表示は逆にわかりづらいということであるので、検討したい。</p>
委員長 (議長)	<p>次に、第2章 建築計画に関する検討(3ページから21ページ)についてですが、範囲が広いので、半分に分けたいと思います。3ページの建設候補地から13ページの駐車場の必要台数の検討までについて、ご意見・ご質問はありませんか。</p>
(委員長)	<p>新庁舎の規模はおそらく一律に縮減されていくわけではないはずで、議場などはそのままの規模で残りそうな気がする。新庁舎の延床面積の6,500㎡は妥当なところになりそうなのか。</p>
事務局	<p>基本構想の段階では8,000㎡としていた。人口減少社会になる中で、ICTの活用などで市役所に行かなくてもいいというようなスタイルになると思われる。人口減少に伴い、職員数の減、ICTの活用などで、どのくらいの規模が適当なのかを他市の事例などを参考にしながら検討した。庁舎の執務室の割合は庁舎全体の面積の2割から3割程度であり、庁舎の規模は市民交流スペースや会議室が非常に大きく関わってくる。会議室は庁舎周辺の施設の会議室も利用していくなどして、できる限りコンパクト化していきたい。フリーアドレスの導入など将来を見越したところで6,500㎡程度を目標として整備をしていきたい。</p>
(委員長)	<p>6,500㎡は目標だから、仮に増えていった場合でも問題ないというスタンスなのか。</p>
事務局	<p>7,000㎡とかに増えていくことは考えていない。若干の上ぶれは想定している。</p>

	(委員長)	敷地面積の一番狭い場所に4階建てで上手くはまるといいなと思って聞いた。5ページの新庁舎建設位置の建築面積はどのくらいか。
委託事業者A		1, 800㎡ぐらいである。
事務局		庁舎の規模は建設費に関わってくる。できるだけ建設費を抑えたいと思っているので、新庁舎の規模の判断をしていきたい。
	(委員)	庁舎の規模について、11ページに記載してあるが、他市の類似団体市から平均して出した数字になっている。平均の出し方が一番多いところと低いところでは10㎡も違いがあるのに、無理矢理平均して6, 500㎡としているのは少し乱暴にみえる。縮減はするけど、6, 500㎡程度を目安にするとかの表現がいいのではないか。実際は部屋ごとの積み上げ、検証をしてみるとかが必要ではないか。
	(委員)	白石町が突出している理由は何か。
事務局		おそらくであるが、合併時の職員数がかかなり多かったのが影響していると思う。建設費の抑制という目標もあったため、6, 500㎡をあげているが、もう少し整理してみる。基本設計時に詳細を詰めていこうかと思っていたが、ゾーニング関係を含めて事例的な形で確認をして積み上げていく。嬉野・塩田両庁舎を合わせた面積が7, 400㎡程度であり、その中には議会関係など含めて共有している部分の削減と、文化センターの会議室を利用することによって会議室を庁舎に設けないなど6, 500㎡をターゲットにしていけるのではなかろうかと考えているが、もう少し検証してみる。
	(委員)	5ページの最初に新庁舎の位置について、4案のうちから候補地Aの北側に決めましたと記載されている。6ページ以降の用途地域などいろいろ検証した結果、最後にここに決めましたという構成がわかりやすい気がする。
事務局		この部分についても、ご意見のとおりであり、修正して次回の委員会でお示ししたい。
	(委員長)	候補地について周辺状況をもう少し書き加えたほうがわかりやすいと思う。
	(委員)	自然にやさしいということを書いてあったが、自然の段差をどう

	<p>考えるのかはあると思う。</p>
事務局	<p>公会堂跡地の候補地Bについて、高低差がかなりあり造成費がかなりかかるということは、（４ページの）表の中の経済性の箇所にその旨記載をしている。これではわかりにくいということなのか。</p>
(委員長)	<p>はっきり言い切る感じにしないといけない。</p>
(委員)	<p>整理の仕方、新庁舎の位置が変わるという考えの話なのか。</p>
(委員長)	<p>候補地A北側という案が経済的にも、効率的な利用、周辺の配慮などの点でもここしかないということをもっとはっきりと示すぐらいの形にしたほうがいいと思う。</p>
(委員)	<p>市民の皆さんがこの計画を見て、ここしかないと思ってもらえるような資料になればと思う。</p>
事務局	<p>もう少し具体的にはっきりと候補地A北側になるように示していくことにするが、配置自体をどのように考えておられるのかの意見をお願いしたい。</p>
(委員)	<p>現地を見た限りでは、文化センターの会議室との連携や道路からの入り込みを考えた場合、候補地A北側がベターじゃないかと思う。</p>
(委員)	<p>この４案の中では候補地A北側がベターだと思う。</p>
(委員長)	<p>最終的には候補地A北側が一番だと思う。少し気になる点としては、幅が狭くなるので奥行きが長くなる形になるので、４階建てにしかないと思う。４階建てになると階段も４層になり、３階建てと比べると面積が増えるかもしれないが、そこは工夫次第かなと思う。平行移動がやりやすい部署があると思うが、そこが上手く集約できるか、入ることができるかは工夫が必要になると思う。候補地Aの南側は住宅・商業地に近くなるが、景観的に見たときに、手前側に引きがあったほうが建物のシンボル性が高まるし、見映えがいい。経済性の面では高低差の解消が一番大きいので、候補地Bより候補地Aが有利である。一方で工期は解体してからでないで建てられないから若干不利になるかもしれない。仮庁舎をつくっていたらコストがあがるので、上手くしていく必要がある。子ども支援センターは、現場が動いている中で、子どもたちを安全に気づけられる場所の確保をしっかりとやっていただきたい。</p>

事務局	<p>仮庁舎のことですが、財政的にかなり負担となることから、仮庁舎はつくらない。解体する第2庁舎に入っている課については、文化センターなどに一旦入ってもらい、工事期間中は辛抱してもらおうことにしている。</p>
(委員長)	<p>収容できる場所は確保できるということか。</p>
事務局	<p>配置について、実際入ってもらった課と協議をしている。</p>
(委員)	<p>文化センターを利用されている方も新庁舎が近くにくることによって良くなったりするのかな。</p>
事務局	<p>新庁舎に市民交流の場をつくるかどうかはこれからの協議になるが、交流の場を設ければ、文化センターの図書館との連携も深まっていくなのかなと思う。</p>
(委員)	<p>図面だけ見たら、子ども連れの方が車を近くに止めてすぐ図書館に行けたのに、新庁舎が建設されることですぐに行けなくなる。ただ、交流センターがあれば動線が良くなって使いやすくなるが、文化センターからの視点もあったほうがいいかなと思う。</p>
事務局	<p>候補地A北側建設案の図面の中に新庁舎と文化センターとの間に広場を設けている。ここをどうするかはこれからの検討になるが、子どもたちが遊べるようなポケットパークみたいなものがあれば、図書館に来た子どもたちの活用が広がると思う。</p>
(委員)	<p>広場はそんなに広くとれない。</p>
事務局	<p>文化センターの塀を撤去してつなげていければなと考えている。</p>
(委員)	<p>図書館利用を考えると障害者用の駐車場は図書館の近くにあったほうがいい。</p>
(委員長)	<p>二つの敷地に分けることは、経済的に厳しいので、候補地A+Bはない。</p>
(委員)	<p>駐車場と広場のスペースであるが、防災面から大規模災害が発生した場合、ヘリの離着陸としてこの位置で考えてはいないのかな。</p>

事務局	みゆき公園が大規模災害時のヘリの離着陸の場所となっている。距離的にも離れていない。
(委員)	庁舎の最上階でも考えられていないのか。
事務局	考えていない。必要ということであれば、広場のところは考えられるのではないかと思うが、把握できていない。
(委員)	20m×20m。ヘリの離着陸で飛来物が半径30mで周辺の住宅等に飛散するので、安全な距離を取るようになっている。
(委員)	12ページの人口推計値は市の総合計画との整合性は取れているのか。来庁舎の窓口の23,000人という数字を使って出しているが、いいのか悪いのか。来庁者用必要駐車台数の46台に議員用駐車台数の16台を加え、想定来庁者用駐車台数は62台となっている。結論が「来庁機会の減少も見込まれるため」ということで最終的に76台となっている。敷地面積や駐車場の確保の話しかからきていると思うが、合わない気がする。13ページには職員用駐車場は279台を基本として検討すると書かれている。公側である職員用は確保するが、来庁者用は来庁者が減るかもしれないからというのは気になる。13ページの身障者用駐車必要台数に「身障者用駐車施設整備基準に準じた台数を確保する計画とします」とあるが、基準というのは最低基準でしかないの、ひとにやさしい嬉野市というのであれば、それ以上であるべき。同じく駐輪台数についても、「駐輪場の整備台数は可能な限り多く確保する方針とします」とあるが、数字を示したほうが、市民にわかりやすいと思う。
事務局	数値的な箇所については、確認する。職員の駐車場などについては、修正して次回の委員会で示したい。
委員長 (議長)	それでは、14ページの新庁舎の機能の考え方から21ページの設定計画の方針まででご意見・ご質問はありませんか。
(委員)	新庁舎の機能の考え方の章が一番大事になってくる。この箇所の充実をお願いしたい。各施設の利用のイメージがあるが、受付の具体的な表現など目玉になりそうなところの利用イメージがあったほうが新庁舎の機能としてわかりやすいと思う。市民サービス機能で情報発信が同じような話で二段書きになっているが、違うなら違うで具体的にもう少しあればと思う。窓口機能で「市民が気軽に来庁しやすく」とあるが、そのためにこうするというような具体的なものが

		<p>少しでも入ってくれば機能の話として充実してくると思う。15ページの執務機能でユニバーサルレイアウトの説明があったが、実際に職員まで浸透できるかなと思う。フリーアドレスは格好いいが、窓口業務や守秘義務のあるところは動けないし、動かない。職員が本当に使いこなせるのか、検証をしてもらいたい。16ページのセキュリティ機能について、「各地域拠点をICTで繋ぎ」とあるが、具体的な拠点のイメージがあるのか。防災拠点機能（BCP）について、市の計画があるのか。その計画があるのであれば、BCP計画との整合を図った上での書きぶりであればより具体的になる。17ページのユニバーサルデザインで「スロープ等の設置に努めます」とあるのは、ひとにやさしいという市の理念があるので、設置しますでいい。景観・周辺環境への調和で「周辺環境と調和した良好な景観の形成を目指します」とあるのは、もう少しキーワードがあっという景観を目指しますとしたほうがいいと思う。</p> <p>事務局 時間の都合もあるので、質問に一つ一つお答えできないが、委員の方で意見を出していただけたら、次回の検討委員会でお答えしていくので、それでいいか。</p> <p>(委員) (委員了承)</p> <p>(委員) 17ページのユニバーサルデザインのところの確認であるが、新庁舎はバリアフリー法の対象になるのか。特定建築に該当するのか。</p> <p>委託事業者A バリアフリー法の対象になる。(特定建築に該当する)</p> <p>(委員) バリアフリー法の基準はクリアするという前提で計画を組むということであれば、手摺りやスロープの箇所は法律で義務になるので「設置します」でいいのではないかと思う。バリアフリー法の中には義務の場合、基準が二種類あり、絶対満たさないといけないという基準のほかに、誘導基準という高い基準がある。そこを狙うのかどうかが大変になる。そのスタンスを決めることができるのであれば、高い基準を目指すということを詰めたほうがいいと思う。資料の中に車イスの事例などの写真があるが、候補地A北側に建設する場合、庁舎と駐車場の関係でこの配置が可能なのかを詰める段階では必要になる。</p> <p>(委員) ユニバーサルデザインは市民にすごく関係することなので、もっと前に記載していいと思う。</p>
--	--	---

	(委員長)	全体に関わる部分でもある。
	(委員)	デジタル技術の進化と活用に伴う来庁機会の減少やオフィススペースの効率化などの記載があるが、デジタル技術を具体的にどう使うふうに使って、どういう想定をしているのかがあったほうがいい。例えば、「塩田庁舎はネットワーク機能を活用し」と書いてあるが、ICT技術をどこにどう入れていくのかがこの中では見えてないのももう少し見えるようにしたほうがいい。
	(委員長)	デジタルに関しては、新庁舎の機能の考え方のところの前段で機能としてどう入れていくのかを入れるというやり方もある。14ページの最初のところに考え方を入れておけばわかりやすいかもしれない。
	(委員)	国でデジタル田園構想が進められており、全国の事例が内閣府のホームページで出ているので参考にしてもらえばいいものがあると思う。
	(委員)	16ページの防災拠点機能に「防災関連資機材などの備蓄に必要なスペースを確保」と記載があるが、備蓄倉庫とのすみ分けはどのように考えているのか。
	事務局	基本的には備蓄倉庫の分は備蓄倉庫でと考えているが、非常用電源を考えている。
	(委員)	非常用電源は自家発電ということか。自家発電は今の備蓄倉庫にあるが、別に考えているのか。
	事務局	別に考えている。
	(委員)	19ページの構造計画で、I類・A類・甲類の一番厳しいところを選んであるが、構造体の分類で普通の建物は1.0であり、I類は1.5倍となり、その分工事費が高くなるのは大丈夫なのか。20ページの表の中の工期に「安定した工期」とあるのは、わかりにくくので表現を書き直したほうがいい。表の一番下の箇所に割増率みたいな目安となる図を入れてもらえばと思う。21ページの設備計画の中に、「温泉熱利用を検討します」ぐらいの内容を入れてみてはどうか。建物の環境配慮イメージの図の中に大きな木が描かれているが、何かそそられるものがあれば書いてもらいたい。

	<p>委員長 (議長)</p> <p>(委員)</p> <p>委員長 (議長)</p> <p>(委員)</p> <p>(委員長)</p> <p>(委員)</p>	<p>次に22ページから25ページの第3章事業計画に関する検討について、意見・質問はございませんか。</p> <p>23ページの事業手法で「従来方式としての設計・施工分離方式を採用します」とあるのは、決定ということでのいいのか。決定を前提とした事業計画、事業費であり、それを全面的に打ち出すということでのいいのか。「合併特例債を第一に考えているため」という表現になっているので、デメリットのところ、事業期間が長くなって合併特例債は使えないというのがあってもいいかなと思う。取捨選択したら、それにしかならないという表現をしてもらえたらと思う。24ページの事業スケジュールで、「なお、スケジュールは変更となる場合があります」とあるのは、例えば規模などの理由でスケジュールが変更になるとかがないといけない。今の予定でいくと、工事が2024年度から始まる。2024年度の当初予算で工事費の36億円の予算を要求していくことになると思うが、設計がまとまるのが8月頃になることと、議会や予算要求の関係で成り立っているのかという心配がある。ライフサイクルコストの箇所「建築年数を65年とした場合、維持管理費は当初建築費の3～4倍を要します」という表現は、「当初予算費以上にオーバー」というぐらいで、それほど辛辣に表現しなくてももいいと思う。概算事業費は「36億円(税込)程度」の表現は、委員会で揉む時に床面積も決まっていないうちで、財源計画の中でそこまでしか出せないということで整合させられるのか気になる。外溝工事費、付帯工事費などの箇所に造成が入っていないのは、事業スケジュールにも入っていないが、今の地形を変えないということで、造成は事業的にもスケジュール的にもなくて大丈夫なのか。ケースモデルの図が載せてあるが、説明文があるといい。</p> <p>全体として、ご意見・ご質問は何かありませんか。</p> <p>オフィス環境整備支援業務の調査報告書の中で、人口推計や延床面積の数字は、基本計画(案)との整合を図ったほうがいい。</p> <p>オフィス環境整備の調査報告書は、基本計画の詳細化に合わせて検討していければと思う。</p> <p>1ページの新庁舎の基本理念の中に説明文に、「嬉野市のまちづくりの拠点となる新しい庁舎」という記述があるが、まちづくりと拠点であるということであれば、人、自然、産業を守るだけでなく、</p>
--	--	--

		「育てる」という文言が入るといいなと思う。
	委員長 (議長)	それでは、本日本日予定の議事については、すべて終了いたしました。最後に次第4その他の事項について、事務局から何かありますか。
	事務局	次回の検討委員会を12月23日(金)9時30分から開催したい。また、1月中旬に第4回目の会議を開催したいと思っている。
	委員長 (議長)	以上をもちまして、第2回嬉野市新庁舎建設検討委員会を閉会いたします。本日はたいへんお疲れ様でした。